

“インフラの未来”を切り拓くあなたの挑戦、募集中！

～中部 DX 大賞 中部からインフラ DX をリードする取組みを募集～

中部 DX 大賞は、中部地方整備局管内において、**インフラ分野の DX に係る優れた実績を挙げた取組を表彰**するものです。

当局発注の工事・業務に限らず、建設現場に直接関わっていない場合でも、インフラの整備・管理・利活用・サービス提供・働き方改革・生産性向上・新技術の実装や研究開発など、**データとデジタル技術の活用に関する幅広い取組を対象**としています。

なお、受賞実績については、当局（港湾空港関係除く）が総合評価落札方式等で発注するすべての工事・業務において、**加対象とするインセンティブを付与**する予定です。**表彰数についても拡大**します。

中部から、インフラの未来を変える一歩を。皆さまのご応募をお待ちしています。

募集対象・要件、募集期間は下記の通りです。その他、募集内容などの詳細は別紙-1を参照下さい。

1. 募集対象・要件

募集対象は以下を満たすものを対象とします。

- (1) 令和 6 年度に、中部地方整備局管内において実施*された取組であること。
- (2) インフラの整備・管理・利活用・サービス提供・働き方改革・生産性向上・新技術の実装や研究開発等に関する、データやデジタル技術を活用した、他の模範となる民間企業や技術者等の取組であること。

※ 取組が完了し、一定の評価が可能なものであれば対象とすることができ、契約が完了していない場合でも応募に差し支えはありません。

2. 応募期間

令和 7 年 8 月 4 日（月）～ 令和 7 年 10 月 10 日（金）

3. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会

【問合せ先】

国土交通省 中部地方整備局 企画部 中部インフラ DX 推進室

建設情報・施工高度化技術調整官 竹原 雅文（たけはら まさふみ）

建設専門官 高井 知啓（たかい ともひろ）

直通：052-953-8131

中部 DX 大賞の募集について

国土交通省では、令和6年度から「i-Construction」の取組を深化させる「i-Construction2.0」を打ち出し、さらなる建設現場の生産性向上に取り組んでいるところです。また、この取組を中核にさらに発展させ、データとデジタル技術を活用して社会資本や公共サービスを変革する「インフラ分野のDX」を推進しています。なお、選考にあたっては、令和7年度から「インフラ分野のDX」の更なる普及拡大を目指し、**波及性の観点について重視して選考**する予定です。

また、現在、工事調達における総合評価落札方式においては、「インフラDX大賞」および「中部DX大賞」の受賞実績について、本官発注工事の一部に限り加点評価を実施しておりますが、**令和7年10月1日以降の公告工事から、全ての工事（分任官発注工事を含む）への加点対象**（港湾空港関係除く）となる予定です。建設コンサルタント業務においては、引き続き、総合評価落札方式等で発注される**全ての業務において、加点対象**（港湾空港関係除く）となります。詳細については、「工事調達における総合評価落札方式の運用ガイドライン」、「建設コンサルタント業務等における入札・契約手続きに関するガイドライン」を確認下さい。

（1）募集対象

募集対象は以下を満たすものを対象とします。

- ① 令和6年度に、中部地方整備局管内^{*1}において実施^{*2}された取組であること。
- ② インフラの整備・管理・利活用・サービス提供・働き方改革・生産性向上・新技術の実装や研究開発等に関する、データやデジタル技術を活用した、他の模範となる民間企業や技術者等の取組であること。

※1：愛知県、岐阜県、静岡県、三重県、長野県南信地域とします。

※2：取組が完了し、一定の評価が可能なものであれば対象とすることができ、契約が完了していない場合でも応募に差し支えはありません。

※3：国土交通省大臣官房により別途募集されている「インフラDX大賞」とは、併せて応募することが可能です。同様の取組み内容での応募であっても差し支えありません。なお、「インフラDX大賞」への応募のみでは「中部DX大賞」への応募とはなりませんので、中部DX大賞への応募を希望される場合は、必ず併行してご応募ください。

（2）応募方法

以下①②の資料を、（6）提出先まで提出してください。

- ① 応募理由書（様式1） ※以下 URL の中部地方整備局 HP よりダウンロード可能です。
https://www.cbr.mlit.go.jp/kikaku/dx/pdf/youshiki1_250804.xlsx
 - 取組名/会社・団体名/取組場所/取組の分野/取組概要(280文字以内)/応募理由（有効性・先進性・波及性の観点で各400字以内）で記載下さい。
 - 取組の分野は、「工事・業務の取組み」または働き方改革などに関する取組みであれば「工事・業務以外の取組み」を選択下さい。

② 取組の概要や効果を示すパワーポイントファイル

- 取組を説明する文書、図表、写真等。A4 で2枚以内。様式の指定はありません。
- ファイル名は、「<企業・団体名>.pptx」としてください

なお、取組の概要や効果を説明する補足資料として以下の条件を満たす動画を併せて提出することができます。提出を義務付けるものではありません。

- 時間：1分以内（音声含む）
- ファイル形式：mp4形式
- 動画の解像度：854×480（アスペクト比：16：9）
- ファイル名は、「<企業・団体名>.mp4」としてください。

※メールの受信可能容量はおおむね20MB程度までとなっております。提出資料がこれを超過する場合は、その旨を（6）までご連絡ください。別途、大容量ファイル送信サービス等の方法をご案内いたします。

（3）応募期間

令和7年8月4日（月） ～ 令和7年10月10日（金）

（4）選考方法・結果の通知

-
- 応募された案件は、中部地方整備局に設置する選考委員会において、**有効性、先進性、波及性**の観点から審査を行い、表彰を受けることが適当であると認められる者を選考します。なお、i-Construction・インフラDXの取組は特定現場での技術としてだけでなく、あらゆる現場において広く普及拡大させることが重要であることから、**令和7年度からは特に波及性の観点について重視して選考**を行う予定としています。
 - 選定数は、別に募集した行政推薦を含め、工事：10件程度、業務（建設コンサルタント）：10件程度、働き方改革などに関する取組み：3件程度を選定して表彰を行う。
 - 提出された資料については、**受賞者においては、中部地方整備局のウェブサイトや公式SNS、Youtube等において一般公開**します。応募をもって公表に同意いただいたものとさせていただきます。
 - 選考されなかった案件について、個別の通知はいたしません。

（5）応募上の留意点

-
- 以下の点に十分ご注意の上、資料・動画をご提出ください。
 - ① 著作権・肖像権に関する配慮
第三者の著作権を侵害しないよう、利用許諾等の必要な対応を必ず実施するようにしてください。他人が映る映像を含む場合は、必ずご本人の同意を得てください。
 - ② 個人情報の保護
氏名、住所、電話番号などの個人情報は、映像や音声に含めないでください。
 - 応募者が表彰年度に指名停止等の措置を受ける等、社会通念上不適切と思われる場合には受賞対象から除外することや、受賞を取り消す可能性があります。

- 政府機関（府省庁等）又はその他の機関（地方公共団体、業界団体等）による表彰制度の受賞者についても、本表彰の対象となります。
- 過去に本表彰に応募した取組についても、前回の応募時のものと比べて新たな内容又は付加的な事由が存在する場合には、前回の応募時の内容を含めて再応募することができます。
- 選考されなかった案件についても、各案件の概要等を中部地方整備局のウェブサイト等にて公表する可能性があります。

（6）提出先・問い合わせ先

中部地方整備局企画部技術管理課 高井・大野・三輪

TEL : 052-953-8131

E-mail : 高井 : takai-t85ab@mlit.go.jp

大野 : oono-t85aa@mlit.go.jp

三輪 : miwa-k85ac@mlit.go.jp